

研究教育業績（過去5年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

1. 勝山 荘, 小笠原幸乃, 櫻田 誓, 高野文英. オキサリプラチンおよびパクリタキセル誘発性末梢神経障害モデルに対する抑肝散の効果. 応用薬理. 101 (1/2), 1-6, (2021).
2. 野澤直美, 福島康仁, 高橋孝, 村橋毅, 高野文英. 硝石製造に用いる土の菌叢解析と史的検証～「古土法」、「培養法」、「硝石丘法」の土の比較～. 薬史学雑誌. 56(2), 84-96 2021.
3. 小池 浩司, 吉川 智香子, 石垣 靖人, 鈴木 信孝, 杉浦 幸一, 小池 大我, 高野 文英. プラセンタ抽出物はヒト骨髄由来単球細胞並びに閉経婦人の末梢血単球細胞の免疫応答を調節する. 日本補完代替医療学会誌. 18(1), 7~21, (2021). In English
4. 野澤直美, 高木翔太, 福島康仁, 高橋 孝, 村橋 毅, 高野文英. 硝石製造法の史的調査と実験的検証に関する研究—わが国における 3 種の硝石製造法の比較—. 薬史学雑誌 55(2), 179-193 (2020).
5. 野澤直美, 高木翔太, 渡邊哲司, 風間竜之介, 小沼(中村)実香, 村橋 毅, 高野文英. 煙硝づくり『古土法』の史学調査と実験的検証について. 薬史学雑誌 54(2), 94-103 (2019).
6. Komatsu T, Katsuyama S, Takano F, Okamura T, Sakurada C, Tsuzuki M, Ogawa K, Kubota A, Morinaga O, Tabata K, Sakurada T. Possible involvement of the μ opioid receptor in the antinociception induced by sinomenine on formalin-induced nociceptive behavior in mice. *Neuroscience Letters*. 699:103-108, (2019).
7. Y. Ogawa, F. Takano, N. Yahagi, M. Yahagi, Y. Kobayashi, H. Kobayashi. Specific Antiproliferative activity against several human cancer cells with metabolites from *Onygena corvina*. *International Journal of Current Microbiology and Applied Sciences*, 8(01):1659-1668, (2019).
8. T. Abe, S. Yoshida, T. Kawabata, F. Takano, T. Ohta. Study of Inhibitory Effect of Polyphenols

from *Fragaria ananassa* on Fat Accumulation in Rat White Adipocyte. *Jpn. J. Complement. Alter. Med. (JJCAM)*, 15(1): 1-7, (2018). <https://doi.org/10.1625/jcam.15.1>

9. M. Tebakari, Y. Daigo, H. Ishikawa, M. Nakamura, J. Kawashima, F. Takano. Anti-Inflammatory effect of the water-soluble portion of porcine placental extract in lipopolysaccharide-stimulated RAW264.7 murine macrophage cells. *Biological & Pharmaceutical Bulletin*, 41: 1251-1256, (2018).
10. A. Kubota, H. Shindo, Y. Fukushima, T. Komatsu, T. Sakurada, T. Yasuda, S. Fushiya, Y. Kondo, C. Sakurada, F. Takano. Effects of Kampo extract boiogito and its alkaloid sinomenine on nociceptive pain in mouse models. *Pharmacometrics*, 92(3/4): 83-89, (2017). (IF: --)

[その他]

[著書]

1. 「スパイス百科 ～起源から効能、利用法まで～」、丁 宗鐵 編集 分担共著、丸善出版（東京）、2018

2. 主な学会発表

[国際学会]

1. Takano F. Hematopoietic active constituents from Japanese herbal prescription “Ninjin’yoeito” (Ren-Shen-Yang-Rong-Tang) . "International Research Conference on Pharmaceutical and Allied Science (IRCPAS2020). 7~8 March, Malaysia, 2020.

[国内学会]

1. 高野文英. 「ニンニクが消化管免疫応答に及ぼす影響」. 令和3年12月11日（土）～12日（日）、第24回日本アロマセラピー学会学術総会（オンラインZoomライブ配信）。
2. 高野文英. 「薬学発の地域特産品を用いた食品開発」. 令和2年10月31日（土）～11月1日（日）、第27回日本未病学会学術総会（オンデマンドセッション） オンライン、東京
3. 中村桂馬, 三浦紗旺里, 佐藤麻衣, 中村実香, 山本博之, 高野文英, 木村道夫. 「真菌おけるペルベリン類の細胞膜透過性及び細胞内局在性と増殖抑制」 平成31年3月20日（水）～23日（土）
日本薬学会139年会 千葉
4. 木村 道夫、佐藤 麻衣、中村 実香、高野 文英、下川 修. 「*Candida albicans* に対するアゾール系抗真菌薬存在下でのトキハダ抽出物の抗真菌作用」、日本薬学会大138年会（金沢）、平成30年3月25日（日）～28日（水）。
5. 手計雅彦、大郷由貴、中村実香、川島順市、高野文英. 「ウマプラセンタエキスの繊維芽細胞増殖作用におけるウマサイタイエキスの相乗効果」、第20回日本補完代替医療学会学術集会（池袋）、平成29年12月2日（土）～3日（日）。
6. 手計雅彦、大郷由貴、中村実香、川島順市、高野文英. 「5-fluorouracil (5-FU) 誘導による骨髄抑

制マウスに対する馬プラセンタエキスの予防効果」、日本薬学会大 137 年会（仙台）、平成 29 年 3 月 24 日（金）～27 日（月）.

3. その他特筆すべき研究業績

II. 教育業績

1. 担当授業科目

1: 薬用植物学（1 年次後期）、2: 天然物化学（2 年次後期）、3: 臨床漢方実践学（6 年次前期コース選択）、4: 漢方処方薬剤学（6 年次前期コース選択）、5: 演習 薬学総合演習 1B（4 年次後期・4 回）、薬学総合演習 II（6 年次後期・4 回）、6: 薬理学特論（6 年次前期・3 回）、7: 天然医薬品分析実習（3 年次前期）

2. その他特筆すべき教育業績